

## 大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：石塚委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第9回防災部会				
(2) 開催日時	平成31年1月15日（火）13:30～15:30				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 3階 集会室				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員（部会長：志村 陽子）				<敬称略>
	田邊 俊子	遠藤 文夫	宇田尻 浩司	粟田 修平	寺嶋 広子
	蛭子 明子	在原 寛子	篠崎 哲也	金丸 正明	黒川 建
	石塚 由江				
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、 村上 和也（大森消防署）、 友部 和也（田園調布消防署）、				
	区職員：阿部 幸喜（防災危機管理課）、 山戸 健司（障害福祉課）				
事務局：小林 善紀（障がい者総合サポートセンター）					
<p>1 司会・書記の確認</p> <p>2 配付資料の確認</p> <p>3 各委員、各ネットワークからの情報提供</p> <p>○児童発達地域ネットワーク会議より ネットワークに参加している事業所から、防災対策の現状について情報提供があった。避難経路を室内の各ドアに表示したり、移動支援時にヘルパーが携帯する災害対応用品を準備している事業所があった。</p> <p>○消防より 避難訓練コンサートを1月に大田文化の森ホールで実施する。</p> <p>○警察より 「防災とボランティアの日（1/17）」、「防災とボランティア週間（1/15～1/21）」の周知があった。</p> <p>○防災危機管理課より 1/19に要配慮者の支援を考える講習会「実例から学ぶ、地域の中での災害時用配慮者支援」を池上会館で実施する。また、「防災とボランティア週間フェア」と題し、防災対策や災害時のボランティア活動に関する展示を大田区役所本庁舎で開催中。</p> <p>○新井宿特別出張所より ・12/15に実施した大森第三中学校の避難所開設訓練の様子を報告。 ・2月に新井宿ちいき防災セミナー「女性・こどもにやさしい避難所を考える」を、新井宿特別出張所で開催する。</p> <p>4 ヘルプカードについて 1) 12月以降に寄せられた意見を共有した。</p>					

- 2) 区内中学校の道徳授業でヘルプマークとヘルプカードの周知を行った。
- 5 児童発達地域ネットワークより防災の参加についてのアンケート結果  
アンケート項目から事業所の「気づき」を意識して実施した。今後も、「防災」をキーワードに、地域資源同士のつながりを大切に働きかけていきたい。
- 6 今年度の振り返り
- 1) 地域との連携
- ア) 総合防災訓練のブース参加（3地区に参加）  
ブースに参加するだけでなく、地域の施設やグループホームに参加を呼びかけ、交流の場や連携の場としていく。
- イ) 地域の防災訓練への参加  
さらに別の地域や出張所との連携を図り、要配慮の必要な方に対する防災について意識を高めてもらう働きかけをしていく。
- ウ) 広域の視点  
東京都自立支援協議会報告から「防災」に取り組んでいる自治体協議会との連絡を取り合うことを試みる。
- 2) 学習・情報発信の継続 ～「誰もが被災者になる」視点で～  
防災学習会は、より多くの方に参加いただけるよう区民公開型に範囲を広げる。
- 3) 他部会との連携  
平成29年度に実施した施設長会へのアンケートと比較・検証する。
- 4) 福祉避難所開設訓練への協力  
・福祉避難所運営会議のようなネットワーク体制づくりに向けた検討はできないか。
- 5) ヘルプカードに対する意見集約  
・ヘルプマークとヘルプカードは、使用目的が異なるので、違いを理解する必要がある。  
・ヘルプカードの「個人情報を持ち歩くのはいかがなものか？」という意見に対しては、気づきのチャンスでもある。実際に使用して役立った例を発信していきたい。
- 6) その他  
・合同部会では、専門部会に限らない共通課題を全体で取り上げてみることはできないか。  
・協議会を身近に感じてもらうため、所属団体の中で情報提供する時に伝え方を工夫する必要がある。
- 7 次年度に向けて  
「アウトリーチ」「調査・研究」「理解・啓発」の3つの柱を中心に検討・取組を行う
- 【調査・研究】**  
・相談支援事業所、移動支援事業所、グループホーム連絡会に「防災アンケート」を実施。⇒防災フェスタや地域の防災訓練への参加意思の項目を入れてはどうか。
- 【自助・共助のツール】**  
・ヘルプカード周知のため、事例集を作成。育成会のワークショップ、鉄道員（ぽっぽや）プロジェクトなどの活動、医療機関との連携を検討する。  
・「助けてねシール」、「助けるシール」など新たなツールの検討。  
・個別支援計画やサービス等利用計画に発災時の確認を入れる取組ができないか。

- ・相談支援専門員やケアマネジャーに対して、緊急時（災害時）への対応を計画に盛り込む必要性を説明し、理解を図りながら進めていく必要がある。

※ 次回日程

○作業部会

日時：平成 31 年 2 月 8 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分 さぼーとぴあ多目的室

○専門部会

日時：平成 31 年 2 月 19 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分 さぼーとぴあ 3 階集会室